

平成20年度 授業予定表

前 期								後 期									
曜日	日	月	火	水	木	金	土	備 考	曜日	日	月	火	水	木	金	土	備 考
4 月			1	2	3	4	5	1日～7日 春季休業 8日 入学式 9日 授業開始 29日～5月5日 特別休業 29日 昭和の日	10 月				1	2	3	4	1日 授業開始 13日 体育の日 22日 開学記念日
	6	7	8	9	10	11	12			5	6	7	8	9	10	11	
	13	14	15	16	17	18	19			12	13	14	15	16	17	18	
	20	21	22	23	24	25	26			19	20	21	22	23	24	25	
	27	28	29	30						26	27	28	29	30	31		
5 月					1	2	3	3日 憲法記念日 4日 みどりの日 5日 こどもの日 6日 振替休日 ○7日 月曜日の授業を行う	11 月							1	3日 文化の日 21日3～5時限 臨時休業 (大学祭準備) 22日～24日 大学祭 23日, 24日 勤労感謝の日, 振替休日 25日1～5時限 臨時休業 (大学祭片付け) ○27日 月曜日の授業を行う
	4	5	6	○7	8	9	10			2	3	4	5	6	7	8	
	11	12	13	14	15	16	17			9	10	11	12	13	14	15	
	18	19	20	21	22	23	24			16	17	18	19	20	21	22	
	25	26	27	28	29	30	31			23	24	25	26	○27	28	29	
										30							
6 月	1	2	3	4	5	6	7	○17日 火曜日の授業を行う 21日 海の日	12 月		1	2	3	4	5	6	23日 天皇誕生日 24日～26日 補講日 25日～1月7日 冬季休業
	8	9	10	11	12	13	14			7	8	9	10	11	12	13	
	15	16	17	18	19	20	21			14	15	16	17	18	19	20	
	22	23	24	25	26	27	28			21	22	23	24	25	26	27	
	29	30								28	29	30	31				
7 月			1	2	3	4	5	○17日 火曜日の授業を行う 21日 海の日	1 月					1	2	3	1日 元旦 ○8日 月曜日の授業を行う 12日 成人の日 16日 試験実施に伴う 臨時休講(予定) 17日, 18日 大学入試センター試験
	6	7	8	9	10	11	12			4	5	6	7	○8	9	10	
	13	14	15	16	○17	18	19			11	12	13	14	15	16	17	
	20	21	22	23	24	25	26			18	19	20	21	22	23	24	
	27	28	29	30	31					25	26	27	28	29	30	31	
8 月						1	2	1日～8日 補講日 4日～6日 オープンキャンパス(予定) 1日～9月30日 夏季休業	2 月	1	2	3	4	5	6	7	11日 建国記念の日 12日～3月31日 臨時休講
	3	4	5	6	7	8	9			8	9	10	11	12	13	14	
	10	11	12	13	14	15	16			15	16	17	18	19	20	21	
	17	18	19	20	21	22	23			22	23	24	25	26	27	28	
	24	25	26	27	28	29	30										
	31																
9 月		1	2	3	4	5	6	15日 敬老の日 23日 秋分の日	3 月	1	2	3	4	5	6	7	20日 春分の日 25日 卒業式
	7	8	9	10	11	12	13			8	9	10	11	12	13	14	
	14	15	16	17	18	19	20			15	16	17	18	19	20	21	
	21	22	23	24	25	26	27			22	23	24	25	26	27	28	
	28	29	30							29	30	31					

は休業日及び臨時休講

## 6. 岡山大学理学部履修科目の上限設定等に関する内規

制定 平成16年 4月29日

改正 平成17年12月 8日

(趣旨)

第1条 この内規は、岡山大学理学部規程（平成16年岡大理規程第1号）第13条の規定に基づき、岡山大学理学部における履修科目の上限設定等について定める。

(履修科目の上限)

第2条 履修科目として登録できる単位数の上限は、1年間42単位とする。

(履修科目の上限を超える登録)

第3条 履修科目の上限を超えて登録しようとする者の当該年度の履修修得単位数が40単位以上で、履修登録科目の成績の単位数に比例した加重平均点（以下「単位平均点」という。）が80点以上の場合は、次年度の履修科目の登録単位数の上限を52単位とし、当該年度履修修得単位数が38単位以上で、単位平均点が78点以上の場合は、次年度の履修科目の登録単位数の上限を47単位とする。

ただし、修得単位の評価に認定及び修了がある場合は、当該単位を単位平均点算出の対象から除くものとする。

附 則

この内規は、平成18年 4月 1日から施行し、平成14年度入学者から適用する。

## 7. 岡山大学理学部早期卒業の認定基準

平成16年4月29日

学部長 裁定

岡山大学理学部規程第22条第2項に基づく岡山大学理学部早期卒業の認定基準は、下記のとおりとする。

### 記

#### 1 早期卒業希望者

早期卒業を希望する者は、第2年次終了時又は第3年次前期終了時に早期卒業希望届を提出するものとする。

#### 2 早期卒業候補者

第2年次終了時における早期卒業希望者のうち、次の認定基準を満たした者について、早期卒業候補者（以下「候補者」という。）と認定し、第3年次前期に第4年次配当科目の履修を許可する。

（候補者認定基準）

第2年次終了時まで卒業要件単位数のうち90単位以上を修得し、通算の履修登録科目の成績の単位数に比例した加重平均点（以下「単位平均点」という。）が85点以上であること。ただし、修得単位の評価に認定及び修了がある場合は、当該単位を単位平均点算出の対象から除くものとする。

#### 3 早期卒業予定者

候補者及び第3年次前期終了時における早期卒業希望者のうち、次の認定基準を満たし、所属学科の議により成績優秀と認められた者について、早期卒業予定者（以下「予定者」という。）と認定し、第3年次後期に第4年次配当科目の履修を許可する。

（予定者認定基準）

第3年次前期終了時まで卒業要件単位数のうち113単位以上を修得し、単位平均点が85点以上であること。ただし、修得単位の評価に認定及び修了がある場合は、当該単位を単位平均点算出の対象から除くものとする。

#### 4 早期卒業の申請

予定者のうち、第3年次終了時又は4年次前期終了時において、卒業要件単位を修得し、単位平均点が85点以上の者について、再度早期卒業の意思確認を行ったうえ、教授会・協議会の議を経て、学長に対して早期卒業の申請を行うものとする。

#### 5 この認定基準は、平成14年度入学者から適用する。

## 8. 岡山大学理学部表彰内規

平成16年4月29日

学部長 裁定

(目的)

第1条 岡山大学理学部（以下「理学部」という。）における自然科学（理学）教育の充実・発展を図るため、「学業及び人物の優れた学生」及び「自然科学（理学）教育振興及び奨励に顕著な業績をあげた者」等を表彰することを目的とする。

(表彰)

第2条 表彰は、「理学部長賞」、「第2年次終了時優秀者賞」及び「教育貢献賞」とし、表彰状を授与するものとする。

(理学部長賞)

第3条 理学部長賞は、理学部及び大学院自然科学研究科博士前期課程理学系（以下「理学系」という。）を卒業又は修了する学生のうちから学業及び人物の優れた者に授与する。

2 候補者は、3月上旬までに理学部各学科及び理学系各専攻各系ごとに原則として1名を理学部長に推薦する。

3 選考は、原則として3月定例教授会・協議会で行う。

4 授与日は、卒業式当日とする。

(第2年次終了時優秀者賞)

第4条 第2年次終了時優秀者賞は、理学部第2年次を終了した学生のうちから成績優秀者に授与する。

2 候補者は、3月末までに理学部各学科ごとに若干名を理学部長に推薦する。

3 選考は、原則として4月定例教授会・協議会で行う。

4 授与日は、理学部長が定める。

(教育貢献賞)

第5条 教育貢献賞は、理学部に勤務する職員に授与する。

2 候補者は、各学科、附属臨海実験所、附属界面科学研究施設及び職員が理学部長に推薦（自薦を含む。）する。

3 前項の推薦のあったときは、別に定める選考基準により学科長会が選考を行う。

4 授与日は、理学部長が定める。

(表彰状)

第6条 表彰状は、別紙のとおりとする。

附 則

この内規は、平成16年4月29日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

## 9. 岡山大学理学部科目等履修生内規

平成16年4月29日  
学部長 裁定

(趣旨)

第1条 この内規は、岡山大学理学部規程(平成16年岡大理規程第1号)第30条第2項の規定に基づき、岡山大学理学部科目等履修生(以下「科目等履修生」という。)に関して必要な事項を定めるものとする。

(出願資格)

第2条 科目等履修生として志願することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- 二 外国において学校教育における12年の課程を修了した者
- 三 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ。)に在学中の者で、特に成績優秀であると在学高等学校長から推薦があった者
- 四 その他第1号又は第2号に掲げる者と同等以上の学力があると認められた者

(在学期間)

第3条 在学期間は1年又は半年とする。ただし、特別な事由がある場合は、期間を延長することができる。

(出願手続)

第4条 入学志願者は、次の各号に掲げる書類に検定料を添えて、理学部長に願い出るものとする。

- 一 科目等履修生願(別紙様式)
- 二 履歴書(写真貼付)
- 三 最終学校の卒業(修了)証明書及び成績証明書  
高等学校に在学中の者は、在学証明書及び成績証明書
- 四 高等学校に在学中の者は、在学高等学校長の推薦書  
その他在学中の者は、在学学校長の承諾書
- 五 在職中の者は、所属長の承諾書
- 六 その他特に指示するもの

(出願の時期)

第5条 出願の時期は、前期入学にあっては2月、後期入学にあっては8月とする。ただし、特別の事情がある場合は、教授会・協議会の議を経てこれを変更することができる。

(選考)

第6条 入学者の選考は、教授会・協議会の議を経て行う。

(入学許可)

第7条 所定の期日までに入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(入学の時期)

第8条 入学の時期は、学年又は学期の始めとする。ただし、特別の事情がある場合は、教授会・協議会の議を経てこれを変更することができる。

(その他)

第9条 この内規の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、平成16年4月29日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

## 10. 岡山大学理学部委託生内規

平成16年4月29日

学部長 裁定

(趣旨)

第1条 この内規は、岡山大学理学部規程（平成16年岡大理規程第1号）第32条第2項の規定に基づき、岡山大学理学部委託生（以下「委託生」という。）に関して必要な事項を定めるものとする。

(出願資格)

第2条 委託生として志願することのできる者は、大学を卒業をした者又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者とする。

(出願の手続)

第3条 入学志願者は、次の各号に掲げる書類を添えて、理学部長に願出するものとする。

- 一 委託生願（別紙様式）
- 二 履歴書
- 三 最終学校の卒業（修了）証明書及び成績証明書
- 四 所属長の委託依頼書
- 五 写真（35mm×35mm）1枚

(出願の時期)

第4条 出願の時期は、前期入学にあつては2月、後期入学にあつては8月とする。ただし、特別の事情がある場合は、教授会・協議会の議を経てこれを変更することができる。

(選考)

第5条 入学者の選考は、教授会・協議会の議を経て行う。

(入学許可)

第6条 所定の期日までに入学手続を完了した者に入学を許可する。

(入学の時期)

第7条 入学の時期は、学年又は学期の始めとする。ただし、特別の事情がある場合は教授会・協議会の議を経てこれを変更することができる。

(在学期間)

第8条 在学期間は1年又は半年とする。ただし、特別の事情がある場合は教授会・協議会の議を経てこれを変更することができる。

(その他)

第9条 この内規の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、平成16年4月29日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

## 1 1 . 岡山大学理学部研究生内規

平成 1 6 年 4 月 2 9 日

学 部 長 裁 定

(趣旨)

第 1 条 この内規は、岡山大学理学部規程（平成16年岡大理規程第 1 号）第33条第 2 項の規定に基づき、岡山大学理学部研究生（以下「研究生」という。）に関して必要な事項を定めるものとする。

(出願資格)

第 2 条 研究生として志願できる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者とする。

(出願手続)

第 3 条 入学志願者は、次の各号に掲げる書類に検定料を添えて、理学部長に願い出るものとする。

- 一 研究生願（別紙様式）
- 二 履歴書
- 三 最終学校の卒業（修了）証明書及び成績証明書
- 四 在職者は所属長の承諾書
- 五 写真（35mm×35mm）1 枚

(出願の時期)

第 4 条 出願の時期は、前期入学にあつては2月、後期入学にあつては8月とする。ただし、特別の事情がある場合は教授会・協議会の議を経てこれを変更することができる。

(選考)

第 5 条 入学者の選考は、教授会・協議会の議を経て行う。

(入学許可)

第 6 条 所定の期日までに入学手続を完了した者に入学を許可する。

(入学の時期)

第 7 条 入学の時期は、学年又は学期の始めとする。ただし、特別の事情がある場合は教授会・協議会の議を経てこれを変更することができる。

(在学期間)

第 8 条 在学期間は1年又は半年とする。ただし、特別の事情がある場合は、教授会・協議会の議を経てこれを変更することができる。

(その他)

第 9 条 この内規の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、平成16年 4 月29日から施行し、平成16年 4 月 1 日から適用する。

## 12. 岡山大学理学部における他の大学又は短期大学の専門教育科目履修に関する内規

平成16年4月29日

学部長 裁定

(趣旨)

第1条 この内規は、岡山大学理学部規程（平成16年岡大理規程第1号）第18条第2項の規定に基づき、理学部学生が他の大学（外国の大学を含む。）又は短期大学（外国の短期大学を含む。）の専門教育科目の履修（以下「他大学等履修」という。）に関して必要な事項を定めるものとする。

(出願手続)

第2条 理学部学生が、他大学等履修を希望するときは、次の各号に掲げる書類を提出することにより、理学部長に願い出るものとする。

- 一 他大学（短期大学）授業科目履修願（別紙様式）
- 二 その他必要とする書類

(許可)

第3条 他大学等履修の許可は、教授会・協議会の議を経て行う。

(単位の認定)

第4条 他大学等履修で修得した単位は、30単位を限度として教授会・協議会で認定のうえ卒業要件単位として取り扱うことができる。

(その他)

第5条 この内規の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、平成16年4月29日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

### 13. 岡山大学理学部特別聴講学生内規

平成16年4月29日

学部長 裁定

(趣旨)

第1条 この内規は、岡山大学理学部規程（平成16年岡大理規程第1号）第31条第2項の規定に基づき、岡山大学理学部特別聴講学生（以下「特別聴講学生」という。）に関して必要な事項を定めるものとする。

(出願資格)

第2条 特別聴講学生として志願できる者は、他の大学（外国の大学を含む）又は短期大学（外国の短期大学を含む）の学生とする。

(出願手続)

第3条 入学志願者は、所属する大学又は短期大学の長を通じて、次の各号に掲げる書類を提出することにより、理学部長に願い出るものとする。

- 一 特別聴講学生願書（別紙様式）
- 二 学部長（学長）の推薦書
- 三 成績証明書
- 四 健康診断書
- 五 写真（上半身・無帽・正面向き・縦32mm×横25mm）2枚
- 六 その他理学部長が必要とする書類

(出願の時期)

第4条 出願の時期は、前期入学にあつては2月、後期入学にあつては8月とする。ただし、特別の事情がある場合は、教授会・協議会の議を経てこれを変更することができる。

(選考)

第5条 入学者の選考は、教授会・協議会の議を経て行う。

(入学許可)

第6条 所定の期日までに手続を完了した者に入学を許可する。

(入学の時期)

第7条 入学の時期は、学年又は学期の始めとする。ただし、特別の事情がある場合は、教授会・協議会の議を経てこれを変更することができる。

(その他)

第8条 この内規の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、平成16年4月29日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

## 14. 履修登録, 試験, 単位修得, 成績等について

### 履修登録について

岡山大学学則, 理学部規程及び単位修得要領等に従って, 各自履修計画を立て, 各年度ごとの授業時間割表・シラバス等により, 履修を希望するすべての授業科目を各学期の始めに履修登録します。(理学部学生を対象としていない他学部開講科目の履修については, 授業担当教員の許可を受けること。) 履修登録は指定された期間中に学生が大学内のパソコンを操作してコンピュータ登録します。(履修登録のない科目の単位修得は認められません。)

また, 履修登録の手続期間以外は, 原則として履修科目の変更(追加登録・取り消し)は認められません。集中講義の履修登録については掲示等によりその都度指示します。

### 試験(理学部専門教育科目)

#### 1 試験時期

各授業担当教員の指示によって行われます。

#### 2 受験延期

病気その他やむを得ない理由で受験できなかった者は, 各授業担当教員の判定により追試験を受けられることがあります。

#### 3 受験心得

受験にあたっては, 別に示される受験心得や各授業担当教員の指示に従って受験すること。

(教養教育科目は履修の手引を参照のこと。)

### 単位修得

単位の修得は, 授業の2/3以上出席したものにつき, 試験, 報告書及び平素の成績を考慮して各授業担当教員が判定します。

### 成績評価

評価(標語)	評価(評点)
A+	90点~100点(合格)
A	80点~89点(合格)
B	70点~79点(合格)
C	60点~69点(合格)
F	0点~59点(不合格)

なお, 授業科目によっては, 「修了」または「認定」の標語をもって合格の評価とすることがあります。

### 成績通知

履修登録科目の成績は, 前期末及び後期末に通知(各自がコンピュータで確認)します。

なお, 後期末の成績通知については, 4年次生は3月上旬頃に, 1~3年次生については, 3月中旬頃に通知します。

### 他大学等の授業科目の履修について

他大学等の授業科目の履修が理学部で認められた場合は, 履修して修得した単位が本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができます。

他大学の履修科目(例えば, 臨海実習など)の履修を希望する者は, 所定の手続により履修を申し出ること。

(「岡山大学理学部における他の大学又は短期大学の専門教育科目履修に関する内規」を参照)

### その他

学生に関係あることは, 事務室教務学生担当又は, 各学科の掲示板で連絡するので見落とさないよう注意すること。

## 《受 験 心 得》

受験にあたっては、次の各事項に留意してください。

- ① 受験する学生は特別の指示がない限り、試験開始時刻の5分前までに所定の教室に入室を完了すること。
- ② 監督者が指定した座席において受験すること。
- ③ 受験中は必ず学生証を机の上に置くこと。  
ただし、学生証を紛失又は忘れた場合は、監督者に申し出て、その指示に従うこと。
- ④ 受験中、机の上に置くことができるものは、学生証、筆記用具及びその他特に許可されたものに限る。それ以外の携行品はカバン等に入れて、座席の下に置くこと。
- ⑤ 解答用紙には、所属学部等名、入学年、番号及び氏名等の必要事項を必ず万年筆又はボールペンで記入すること。
- ⑥ 試験開始後20分を経過するまでは退室できない。
- ⑦ 試験開始後20分を経過した場合は入室できない。
- ⑧ 解答用紙は、特に指定がない場合、教卓上に提出するか、又は監督者に直接手渡すこと。自己の机の上に置いて退室すると無効になる。
- ⑨ 受験にあたっては、厳正な態度で臨み、誤解を招くような態度や不正行為は厳に慎むこと。

なお、監督者の指示に従わない者、及び不正行為があると認められた者に対しては、学則第58条（大学院学則第49条）により厳重な懲戒処分を行う。

## 気象警報が出された場合等の授業の取扱い

① 台風等により、岡山地域又はこれを含む岡山県南部地域あるいは岡山県全域に、岡山地方気象台から次の気象警報が発表された場合は、授業（定期試験を含む）を以下のとおり取り扱います。

※ 岡山地域とは、岡山地方気象台の注意報・警報の発表区分である岡山地域（岡山市・瀬戸内市・玉野市・加賀郡（吉備中央町）・御津郡（建部町））を指します。

### (1) 対象となる気象警報の種類

「暴風警報」, 「暴風雪警報」及び「大雪警報」

### (2) 授業の取り扱い

午前6時から午前8時40分までに警報が出ている場合、全ての授業が休講となります。

警報が午前8時40分までに解除されても、全ての授業が休講となります。

授業開始後に警報が出された場合は、次の時限以降の授業が休講となります。

上記休講措置の対象とならない警報や、局地的な災害発生で交通機関が運休するなどにより登校が困難な場合は、受講できなかった授業を公欠扱いとしますので、後日「気象警報・災害発生による公欠届」を教務学生係に提出してください。その際、定期試験であった場合には、併せて各授業担当教員へ追試験を申し出てください。

② 地震等の緊急事態が発生した場合は、状況を調査の上、授業等の実施に支障がある場合は、追って、授業の取り扱いを周知します。

授業時間中に発生した場合は、教職員の指示に従ってください。

### ③ 休講となった授業の補講及び公欠扱いとした学生に係る授業の取扱い

1) 定期試験が休講の場合：別の期日に試験を行います。

2) 定期試験を公欠した場合：別の期日に追試験を行います。

3) 通常授業が休講の場合：後日補講を行います。

4) 通常授業を公欠した場合：補講はせず、授業担当教員の指示により教室外学習を行います。

追って、追試験・補講通知があります。また、公欠により不足となった学習時間については、授業担当教員より、レポートなどの授業時間外（教室外）学習等の指示があります。

### ④ 確認・周知方法等

気象警報の確認は、各自が気象台の天気予報、マスメディア等により行ってください。休講措置の周知は、掲示板、本学のホームページ、マスメディアを通じてお知らせします。

なお、授業開始後に警報が出された場合には、掲示並びに授業担当教員を通じてお知らせします。

また、直ちに下校することが危険な場合には、講義室等で待機してください。

○ 単位修得要領

I 卒業要件単位

科目区分	学科	全 学 科
教 養 教 育 科 目		3 6
専門教育科目	専門基礎科目	1 2
	専 門 科 目	8 0
卒 業 要 件 単 位		1 2 8

II 教養教育科目（下記の数字は、卒業要件単位数を示す。）

科 目 区 分		授 業 科 目	全 学 科	
			必 修	選 択 必 修
ガイダンス科目		自然科学入門	2	1 4 (注4)
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目	2	
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目	2	
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目	2	
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目	2	
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目		
	自然科学	自然科学系科目		
	生命・保健科学 (注1)	健康・スポーツ科学 スポーツ実習 (A, B, C, D, E, F)		
	情報科学	情報処理入門 (情報機器の 操作を含む)		
外 国 語 科 目  (注3)	英語	英語 (理学部)	2	
		英語 (ネイティブ)	2	
		英語 (オラコン) 英語 (作文・文法) 英語 (読解) 英語 (検定)	4 (注2)	
		上級英語	4	
		英語特別演習 1		
		英語特別演習 2		
	ドイツ語			
	フランス語			
	中国語			
	韓国語			
ロシア語				
スペイン語				
イタリア語				
日本語 (留学生用)				
卒 業 要 件 単 位			2 2	1 4
			3 6	

(注1) スポーツ実習は2単位まで卒業要件単位に含めることができる。

(注2) 各学科が指定する英語から修得する。

(注3) 外部検定試験等の結果により単位を認定することができる。

(注4) 上級英語及び英語特別演習以外の英語は含まない。

外部検定試験等による単位認定について

次の基準により単位を認定します。

単位を満たした学生で、単位認定希望者は理学部事務室教務学生担当へ申し出てください。

別表第1の1 (平成20年度以降入学者適用)

科 目	認定の対象とする 外部検定試験等	合 格 基 準	認定する授業科目・単位数
英 語	【英語関係Ⅰ】 Test of English for International Communication (TOEIC, ITPを含む)	470～585点 (OT3)	別表第1附表-1の③から⑥の中より選択 2単位
		590～725点 (OT2)	別表第1附表-1の③から⑥の中より選択 4単位
	実用英語技能検定 (英検) 国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	準1級	別表第1附表-2の①から⑥の中より 選択 4単位
		B級	
		500点以上	
		173点以上	
61点以上			
【英語関係Ⅱ】 Test of English for International Communication (TOEIC, ITPを含む)	730点以上 (OT1)	英語 (ネイティブ) 2単位 及び 別表第1附表-1の③から⑥の中より選択 4単位	
	実用英語技能検定 (英検) 国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	1級	別表第1附表-2の①から⑥の中より 選択 8単位
A級			
550点以上			
213点以上			
79点以上			
ド イ ツ 語	ドイツ語技能検定試験 (独検)	4級	ドイツ語初級Ⅰ (文法) } ドイツ語初級Ⅰ (読本) } 4単位 ドイツ語初級Ⅱ (文法) } ドイツ語初級Ⅱ (読本) } 又は ドイツ語初級Ⅰ (総合) 4単位
		3級以上	ドイツ語初級Ⅱ (総合) 4単位 又は ドイツ語中級 4単位
フ ラ ンス 語	実用フランス語技能検定試験 (仏検)	5級	フランス語初級Ⅰ (文法) 又は フランス語初級Ⅰ (読本) 2単位
		4級	フランス語初級Ⅰ (文法) } フランス語初級Ⅰ (読本) } 4単位 フランス語初級Ⅱ (文法) } フランス語初級Ⅱ (読本) } 又は フランス語初級Ⅰ (総合) 4単位
		3級以上	フランス語初級Ⅱ (総合) 4単位 又は フランス語中級 4単位
中 国 語	漢語水平考試 (HSK)	基礎1級	中国語初級Ⅰ (文法) 又は 中国語初級Ⅰ (読本) 2単位
		基礎2級	中国語初級Ⅰ (文法) } 中国語初級Ⅰ (読本) } 4単位 中国語初級Ⅱ (文法) } 中国語初級Ⅱ (読本) }
		基礎3級及び 初中等1級以上	中国語中級 4単位

別表第1の2（平成20年度以降入学者適用）

科目	認定の対象とする外部検定試験等	合格基準	認定する授業科目・単位数
韓国語	韓国語能力試験	1級	韓国語初級Ⅰ（文法） 韓国語初級Ⅰ（読本） 韓国語初級Ⅱ（文法） 韓国語初級Ⅱ（読本） 又は 韓国語初級Ⅰ（総合） <span style="float: right;">} 4単位 4単位</span>
		2級以上	韓国語初級Ⅱ（総合） 又は 韓国語中級 <span style="float: right;">4単位 4単位</span>
スペイン語	スペイン語技能検定	6級	スペイン語初級Ⅰ（文法） スペイン語初級Ⅰ（読本） <span style="float: right;">} 又は 2単位</span>
		5級	スペイン語初級Ⅰ（文法） スペイン語初級Ⅰ（読本） スペイン語初級Ⅱ（文法） スペイン語初級Ⅱ（読本） <span style="float: right;">} 4単位</span>
		4級以上	スペイン語中級 <span style="float: right;">4単位</span>
イタリア語	実用イタリア語検定	5級	イタリア語初級Ⅰ（文法） イタリア語初級Ⅰ（読本） <span style="float: right;">} 又は 2単位</span>
		4級	イタリア語初級Ⅰ（文法） イタリア語初級Ⅰ（読本） イタリア語初級Ⅱ（文法） イタリア語初級Ⅱ（読本） <span style="float: right;">} 4単位</span>
		3級以上	イタリア語中級 <span style="float: right;">4単位</span>

- 備考 1 成績の取り扱いは「認定」とする。  
 2 外部検定試験等による単位認定は、一外国語につき8単位を限度とする。  
 3 英語に関しては、【英語関係Ⅰ】と【英語関係Ⅱ】は重複して単位認定の対象とする。  
 4 ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語及びイタリア語に関しては、一つの授業科目について外部検定試験等による単位認定は1回限りとする。

別表第1附表－1（平成20年度以降入学者適用）

項番	授業科目名	備考
①	理学部以外学部対象 記載省略	理学部以外学部対象 記載省略
②	英語（ネイティブ）	理学部以外学部対象 記載省略
③	英語（オラコン）	O T 1 O T 2 O T 3
④	英語（作文・文法）	
⑤	英語（読解）	
⑥	英語（検定）	

別表第1附表－2（平成20年度以降入学者適用）

項番	授業科目名
①	英語（理学部）
②	英語（ネイティブ）
③	英語（オラコン）
④	英語（作文・文法）
⑤	英語（読解）
⑥	英語（検定）

### Ⅲ 専門教育科目

#### 1 教育コース

(1年次)

(2年次)

(3年次)

(4年次)

		(1年次)	(2年次)	(3年次)	(4年次)	
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">数学科</div> <div style="margin-bottom: 10px;">物理学科</div> <div style="margin-bottom: 10px;">化学科</div> <div style="margin-bottom: 10px;">生物学科</div> <div>地球科学科</div> </div>	基 礎 科 目		広域科学コースⅠ	数理科学コース	代数・計算数理科学分野	
				物理科学コース	空間数理科学分野	
				物性科学コース	解析・汎用数理科学分野	
				広域科学コースⅡ	量子科学コース	基礎物理学分野
			分子科学コース		物性物理学分野	
			反応科学コース		量子物理学分野	
			物質科学コース		分子化学分野	
			生体分子機能科学コース		反応化学分野	
			生体システム科学コース		物質化学分野	
			広域科学コースⅢ	地球システム科学コース	生体分子機能科学分野	
				地球ダイナミクスコース	生体制御科学分野	
					地球惑星科学分野	
						地球物質循環学分野
					複合領域科学コース	

#### 複合領域科学コースについて

内容・特色：幅広い分野の科目を選択履修することにより、複合的・学際的な学問分野に対応、進出できる学生を育成することを目的とし、各学科の開講する専門科目を2学科以上にわたって修得し(ただし、そのうち2学科については、それぞれ専門科目12単位以上を修得する)、志望する教育・研究分野の担当教員のもとで課題研究を行い卒業します。許可条件等については、後述します。

## 2 専門基礎科目

各学科の履修すべき授業科目・単位は下表のとおりです。

授業科目	単位数	数 学 科	物 理 学 科	化 学 科	生 物 学 科	地球科学科
微分積分学Ⅰ	2	2	○			
微分積分学Ⅱ	2	2	○			
線形代数学Ⅰ	2	2	○			
線形代数学Ⅱ	2	2	○			
数学演義Ⅰ	2	○				
数学演義Ⅱ	2	○				
基礎微分積分学Ⅰ	2			○	○	○
基礎微分積分学Ⅱ	2			○	○	○
現代数学要論Ⅰ	2		○	○	○	○
現代数学要論Ⅱ	2		○	○	○	○
基礎物理学Ⅰ	2	○		○	○	○
基礎物理学Ⅱ	2	○		○	○	○
一般化学Ⅰ	2	○	○		○	○
一般化学Ⅱ	2	○	○		○	○
基礎生物学Ⅰ	2	○	○	○		○
基礎生物学Ⅱ	2	○	○	○		○
基礎地球科学A	2	○	○	○	○	
基礎地球科学B	2	○	○	○	○	
基礎物理学実験	1			○	○	○
基礎化学実験	1		○		○	○
基礎生物学実験	1		○	○		○
基礎地球科学実験	1		○	○	○	
卒業要件単位		12	12	12	12	12

※1 数学科は、「微分積分学」及び「線形代数学」は必修です。

2 ○の科目は、選択して履修する科目です。

## 3 専門科目

専門科目の履修すべき科目・単位は、以下の表のとおりです。

授業科目を履修するにあたっては各年次に配当された科目を逐次履修することが望ましい。

# 数 学 科

学 年	授 業 科 目	単 位			備 考
		必 修	選 択 必 修	選 択	
1	数学演義Ⅲ	2			
2	微分積分学Ⅲ	2			
	代数学基礎 A	2			
	代数学基礎 B	2			
	幾何学基礎 A	2			
	幾何学基礎 B	2			
	解析学基礎 A	2			
	解析学基礎 B	2			
	情報処理論			2	
	離散数学Ⅰ			2	
	情報数学Ⅰ			2	
	微分積分学Ⅲ演習		2		
	代数学基礎 A 演習		2		
	代数学基礎 B 演習		2		
幾何学基礎 A 演習		2			
幾何学基礎 B 演習		2			
解析学基礎演習		2			
3	代数学		2		講義・演習 18 以上
	代数学演習		3		
	幾何学Ⅰ		2		
	幾何学Ⅱ		2		
	幾何学演習		3		
	解析学Ⅰ		2		
	解析学Ⅱ		2		
	解析学演習		3		
	離散数学Ⅱ		2		
	情報数学Ⅱ		2		
	情報数学Ⅲ		2		
	確率・統計		2		
	情報化社会論			2	
	情報数学インターンシップ			2	
数理科学演習	3				
4	代数学特論Ⅰ		2		4 以上
	代数学特論Ⅱ（情報）		2		
	幾何学特論Ⅰ		2		
	幾何学特論Ⅱ		2		
	解析学特論Ⅰ		2		
	解析学特論Ⅱ（情報）		2		
	数学情報課題研究	10			
関連（他学科開講）科目				選択	
その他（他学部開講）の科目			14 以下	選択	
計	29	22 以上			
卒 業 要 件 単 位		80			

講義と演習は原則として分離して履修することはできません。ただし、特別な事情のある場合はこの限りではありません。

物 理 学 科

学 年	授 業 科 目	単 位			備 考 選択必修は各コース共通
		必 修	選 択 必 修	選 択	
1	量子論入門 物理数学1 情報物理学実験 I	3		2 2	
1	力学1 力学2 電磁気学 I		2 2 2		} 14 単位選択必修
2	電磁気学 II 量子力学 I 量子力学 II 熱力学		2 2 2 2		
3	統計力学 I 統計力学 II		2 2		
1	力学演習1 力学演習2 電磁気学演習1		1 1 1		
2	電磁気学演習2 量子力学演習1		1 1		
3	量子力学演習2 統計力学演習1 統計力学演習2		1 1 1		
2	力学3 電磁気学 III 物理数学2 情報物理数学 振動波動 情報化と職業倫理 情報物理学実験 II	3		2 2 2 2 2 2	}
3	相対論入門 量子力学 III 相対論的量子力学 コンピュータ物理学1 コンピュータ物理学2 情報システム科学 シミュレーション物理学 物理学実験	3		2 2 2 2 2 2	
3, 4	固体物理学1 固体物理学2 固体物理学3 原子核物理学 相対性理論 素粒子物理学 情報化社会論			2 2 2 2 2 2 2	
3, 4	情報物理学特別課題研究		5		
4	情報物理学課題研究		10		
	関連（他学科開講）科目				選択
	その他（他学部開講）の科目			17 以下	
	計	9	25 以上		
	卒業要件単位		80		

# 化 学 科

学 年	授 業 科 目	単 位			備 考
		必 修	選 択 必 修	選 択	
1	化学英語	2			選択必修は指定された科目の内から指定単位数以上を修得する。
	有機化学Ⅰ	2			
	有機化学Ⅱ	2			
	有機化学演習Ⅰ		1		
	化学数学Ⅰ			2	
	化学数学Ⅱ			2	
2	物理化学Ⅰ	2			
	物理化学Ⅱ		2		
	物理化学演習		1		
	量子化学Ⅰ	2			
	量子化学Ⅱ		2		
	量子化学演習		1		
	有機化学Ⅲ		2		
	有機化学Ⅳ		2		
	有機化学演習Ⅱ		1		
	無機化学Ⅰ	2			
	無機化学Ⅱ		2		
	分析化学Ⅰ	2			
	分析化学Ⅱ		2		
	分析化学演習		1		
	基礎化学実験	3			
分析・無機化学実験	3				
3	反応速度論		2		
	統計熱力学		2		
	構造化学Ⅰ		2		
	構造化学Ⅱ		2		
	有機合成化学		2		
	有機化学Ⅴ		2		
	有機電子論		2		
	有機化学Ⅵ		2		
	無機化学Ⅲ		2		
	無機化学Ⅳ		2		
	錯体化学		2		
	固体化学			2	
	界面化学			2	
	溶液化学		2		
機器分析化学		2			
化学輪講	2			半期2コマ必修	
有機化学実験	3				
物理化学実験	3				
4	化学ゼミナール			2	
	課題研究	10			
	関連（他学科開講）科目				選択
	その他（他学部開講）の科目			10以下	選択
計		38	14以上		
卒 業 要 件 単 位		80			

# 生 物 学 科

学 年	授 業 科 目	単 位			備 考
		必 修	選 択 必 修	選 択	
1	基礎生物学演習Ⅰ	1			生物学科 選択必修及び選択科目 の中から40単位以上 選択して履修 各コース共通
	基礎生物学演習Ⅱ	1			
	現代生物学Ⅰ			1	
	現代生物学Ⅱ			1	
	分子生物学Ⅰ			2	
	植物生理学			2	
	保全生態学演習			2	
2	細胞生物学Ⅰ			2	
	細胞生物学Ⅱ			2	
	生化学Ⅰ			2	
	生化学Ⅱ			2	
	遺伝学Ⅰ			2	
	発生生物学Ⅰ			2	
	植物発生生理学			2	
	行動生物学			2	
	系統分類学			2	
	免疫生物学			2	
	生体制御学Ⅰ			2	
	神経行動学			2	
	分子遺伝学Ⅰ			2	
	分子遺伝学Ⅱ			2	
3	遺伝学Ⅱ			2	
	発生生物学Ⅱ			2	
	発生分子機構学			2	
	動物生理学			2	
	分子生物学Ⅱ			2	
	生体制御学Ⅱ			2	
	生体制御学Ⅲ			2	
	進化生物学			2	
	細胞生物学Ⅲ			2	
	生物物理学Ⅰ			2	
	生物物理学Ⅱ			2	
	神経生物学Ⅰ			2	
	神経生物学Ⅱ			2	
	生化学Ⅲ			2	
	放射線生物学			2	
生物学英語演習					
生物学ゼミナールA			1		
4	生物学ゼミナールB			2	
2	生物学実験A	2			
	生物学実験B	2			
3	臨海実習Ⅰ		2		
	生物学実験C			3	
	生物学実験D			3	
	臨海実習Ⅱ		2		
4	臨海実習Ⅲ		2		
	課題研究	10			
	関連（他学科開講）科目			選択	
	その他（他学部開講）の科目			選択	
計		17		63	
卒業要件単位		80			

単位互換「臨海実習」及び「公開臨海実習」は、選択科目として扱います。

# 地球科学科

学年	授業科目	単 位			備 考 選択必修は各コース共通
		必修	選択必修	選択	
1	地球科学ゼミナールⅠ	2			延5日間
	現代地球科学Ⅰ	2			
	現代地球科学Ⅱ	2			
	地球科学巡検Ⅰ	1			
2	地球科学ゼミナールⅡ	2			2,3年次の実験・実習科目 (地質調査法実習を除く) 7単位のうち,5単位以上 選択必修
	地球科学ゼミナールⅢ	2			
	鉱物結晶学実験		1		
	地質図学実験		1		
	顕微鏡岩石学実験Ⅰ		1		
顕微鏡岩石学実験Ⅱ		1			
2	鉱物結晶学		2		36単位以上選択必修
	基礎資源論		2		
	基礎岩石学		2		
	地球発達史		2		
	固体地球物理学		2		
	宇宙と地球の化学		2		
	地球化学熱力学		2		
	大気物質循環論		2		
	地球惑星内部物理学		2		
	地球物質反応論		2		
	生物地球化学		2		
3	変成論		2		36単位以上選択必修
	地球内部物性論		2		
	地震波動論		2		
	大気物理学		2		
	火成論		2		
	地球変動論		2		
	地形学		2		
	地球惑星物理化学		2		
	資源物質循環論		2		
	無機地球化学		2		
	海底地質学		2		
	沿岸の地球科学		2		
	微量元素・同位体の地球化学		2		
地質調査法実習		4		野外調査は15日以上	
地球科学巡検Ⅱ			1	延5日間	
3	地球科学ゼミナールⅣ	2			1
	地球物理学演習				
	地球物理学実験		1		
	地球化学実験		1		
測量地理情報学実習		1			
4	地球科学輪講	4			
	課題研究	6			
	関連(他学科開講)科目				選択
	その他(他学部開講)の科目				選択
計		23	41以上		
卒業要件単位		80			

## 各 学 科 共 通

年 次	授 業 科 目	必 修	選択必修	選 択	備 考
2～3	就業体験実習 (インターンシップ)			2	数学科は『情報数学インターンシップ』 となる。
3～4	博物館実習			2	学芸員資格取得者用

① 「課題研究」の履修条件

数 学 科 (1) 1年次, 2年次の専門教育科目の必修科目24単位と学科開講の2年次専門科目8単位以上, 合わせて32単位以上を修得していること。

ただし, 物理学科2年次開講の教育職員免許状「情報」取得のための授業科目を含めることができます。

(2) 卒業要件単位を100単位以上修得していること。

物 理 学 科 (1) 「情報物理学実験Ⅰ」, 「情報物理学実験Ⅱ」, 「物理学実験」を修得していること。

(2) 卒業要件単位を102単位以上修得していること。

ただし, 第3年次編入学学生については, 上記(1)のうち「情報物理学実験Ⅰ」, 「情報物理学実験Ⅱ」を修得したものとみなします。

化 学 科 (1) 3年次までの専門科目(必修)28単位を修得していること。

[第3年次編入学学生は, 3年次までの専門科目(必修)24単位以上を修得していること。(ただし, 実験はすべて修得していること。)]

(2) 専門科目(選択必修, 選択, 他学科開講科目(いずれも集中講義を除く。))32単位以上修得していること。

(なお, 教育学部教職科目を10単位まで含めることができます。)

(3) 卒業要件単位を100単位以上修得していること。

[第3年次編入学学生は, 卒業要件単位を94単位以上修得していること。]

生 物 学 科 (1) 3年次までの教養教育科目及び専門教育科目の必修科目をすべて修得していること。

(2) 卒業要件単位を102単位(うち外国語8単位)以上修得していること。

地球科学科 卒業要件単位を100単位以上修得した者, ただしその中に2年次までの全ての専門必修科目, 3年次までの選択必修科目26単位以上, 実験実習科目(地球科学巡検Ⅰ, Ⅱおよび地質調査法実習を除く)5単位以上, および外国語科目10単位以上を含まなければならない。

② 転学科を伴わない他学科の「課題研究」履修条件

内容・特色: 入学後新しい学問分野に目覚め, 自分の興味が深まるに従って, その分野の授業科目を学科の枠にとらわれず自分のメニューで選んで履修し, 将来その分野で積極的に研究をする希望が強くなったときは, 4年次で他学科の教育・研究分野において志望する担当教員のもとで「課題研究」を行うことができ, 更にその分野の大学院に進学することも可能となります。

定 員: 各学科とも学生定員の10%以内

3年次終了時に, 各学科で希望者の中から選抜し, 履修を認めます。

他学科の「課題研究」履修許可条件：

- (1) 所属学科の「課題研究」を履修する資格を得たもので、かつ
- (2) 他学科の「課題研究」を担当する教員（臨海，界面を含む）の同意を得たものに限り履修できます。ただし，各教員が受入れる本ケースの「課題研究」履修学生は1名を越えない。

注意事項：実験・実習等，授業科目によっては，他学科学生は限られた少人数のみ履修が可能な場合もあるので，志望する科目履修（課題研究を含む）に関し，担当教員に受入れ基準等をできるだけ早い段階で尋ねておくこと。

③ 複合領域科学コース（定員，許可条件，卒業要件，注意事項）

1 定員

各学科学生定員の20%程度以内

2 許可条件

① 2年次終了時の登録許可条件

所定の用紙により事務室教務学生担当へ願い出て，教務・学生支援委員会で選抜され，登録を許可された者

② 3年次終了時の「課題研究」の履修許可条件

(1) 3年次終了時に次の必要修得単位を満たしている者

科目	所属学科	数学科	物理学科	化学科	生物学科	地球科学科
卒業要件単位		100単位以上				

(2) 課題研究を担当する正指導教員（フロンティア科学教育研究推進室または関連学科，臨海，界面所属教員を含む。）の同意を得た者  
ただし，各正指導教員が受け入れる本コースの課題研究履修学生は2名を越えない。

3 卒業要件

科目	所属学科	数学科	物理学科	化学科	生物学科	地球科学科
教養教育科目計		36単位				
専 門 教 育 科 目	専門基礎科目計		12単位			
	2学科以上 にわたって 修得する こと	専門科目	所属学科専門科目（課題研究と集中講義を除く。） 12単位以上			
			他学科専門科目（課題研究と集中講義を除く。） 12単位以上			
	課題研究		志望する教育・研究分野の正指導教員のもとで履修し， 正指導教員が担当する学科の課題研究の単位数となる。			
専門科目計		理学部開講科目66単位以上を含む80単位				
卒業要件単位計		128単位				

4 注意事項

- ① 2年次後期までは，入学学科のカリキュラムに従って履修するが，複合領域科学コース希望者は，1，2年次においても可能な限り，同コースを視野に入れて科目を選択・履修することが望ましい。
- ② 実験・演習等，授業科目によっては，他学科学生は限られた少人数のみ履修が可能な場合もあるので，志望する科目履修（課題研究を含む）に関し，担当教員に受入れ基準等をできるだけ早い段階で尋ねておくこと。
- ③ 4年次で，所属学科のコースへ戻ることは可能とする。

15. 平成20年度開講理学部専門教育科目

[専門基礎科目]

学年	講義番号	授業科目	教員	期別・単位			履修区分	対象学生	備考	免許法上の分類
				前期	後期	通年				
1	050100	微分積分学Ⅰ	松崎	2			必修	数		解析学
	050101	微分積分学Ⅱ	清原		2		〃	〃		〃
	050102	微分積分学Ⅰ	鈴木(武)	2			選択	物		〃
	050103	微分積分学Ⅱ	勝田		2		〃	〃		〃
	050104	基礎微分積分学Ⅰ	鈴木(武)	2			〃	化・生・地		—
	050105	基礎微分積分学Ⅱ	鈴木(武)		2		〃	〃		—
	050106	線形代数学Ⅰ	吉野	2			必修・選択	数(必修)・物(選択)		代数学
	050107	線形代数学Ⅱ	吉野		2		〃	〃		幾何学
	050112	現代数学要論Ⅰ	中村(博)	2			選択	物・化・生・地	平成17年度以前入学は代数学と幾何学Ⅰに読替(物-卒業要件外)	—
	050113	現代数学要論Ⅱ	山田		2		〃	〃	平成17年度以前入学は代数学と幾何学Ⅱに読替(物-卒業要件外)	—
	050110	数学演義Ⅰ	鳥居	2			〃	数		解析学
	050111	数学演義Ⅱ	田村		2		〃	〃		〃
	050200	基礎物理学Ⅰ	村岡	2			〃	数・化・生・地		物理学
	050201	基礎物理学Ⅱ	神戸		2		〃	〃		〃
	050202	基礎物理学実験	松島		1		〃	化・生・地		物理学実験
	050300	一般化学Ⅰ	鈴木(孝)	2			〃	数・物・生・地		化学
	050301	一般化学Ⅰ	川本	2			〃	〃		〃
	050302	一般化学Ⅱ	高村		2		〃	〃		〃
	050303	一般化学Ⅱ	大久保		2		〃	〃		〃
	050304	基礎化学実験	石田・末石・後藤	1			〃	物・生・地		化学実験
	050306	基礎化学実験	大島・鈴木(孝)		1		〃	〃		〃
	050400	基礎生物学Ⅰ	高橋(純)	2			〃	数・物・化・地		生物学
	050401	基礎生物学Ⅱ	沓掛		2		〃	〃		〃
	050402	基礎生物学実験	竹内	1			〃	物・化・地	夏季休業中集中	生物学実験
	050500	基礎地球科学A	山川	2			〃	数・物・化・生		地学
	050501	基礎地球科学B	隈元		2		〃	〃		〃
050503	基礎地球科学実験	浦川 他	1			〃	物・化・生		地学実験	

数学科[専門科目]

学年	講義番号	授業科目	教員	期別・単位			履修区分	備考	免許法上の分類
				前期	後期	通年			
1	05 1108	数学演義Ⅲ	石川		2		必修	平成17年度以前入学者は現代数学入門に読替	代数学
2	05 1208	幾何学Ⅰ	勝田	2			必修		幾何学
	05 1209	幾何学Ⅰ演習	勝田	2			〃		〃
	05 1212	位相数学Ⅰ	鳥居	2			〃		〃
	05 1213	位相数学Ⅰ演習	鳥居	2			〃		〃
	05 1216	確率・統計	高橋(泰)	2			選択		「確率論, 統計学」
	05 1217	情報処理論	古川		2		〃		コンピュータ
	05 1218	情報処理論	片岡	2			〃	化,地の学生	情報機器の操作
	05 1219	情報処理論	片岡		2		〃	物,生の学生	〃
	05 1220	解析学基礎Ⅰ	田村	2			必修		解析学
	05 1221	解析学基礎Ⅰ演習	大下	2			〃		〃
	05 1222	解析学基礎Ⅱ	河備		2		選択必修		〃
	05 1223	解析学基礎Ⅱ演習	河備		2		〃		〃
	05 1224	代数学基礎Ⅰ	石川	2			必修		代数学
	05 1225	代数学基礎Ⅰ演習	吉野	2			〃		〃
	05 1226	代数学基礎Ⅱ	山田		2		選択必修		〃
	05 1227	代数学基礎Ⅱ演習	鈴木(武)		2		〃		〃
05 1230	ネットワークとセキュリティ	島川		2		選択	平成13年度以降入学者	情報	
05 1231	グラフ理論と幾何学	勝田		2		〃	〃	〃	
3	05 1326	ルベーグ積分	大下	2			選択必修		解析学
	05 1327	ルベーグ積分演習	大下	2			〃		〃
	05 1328	関数解析入門	河備		2		〃		〃
	05 1329	関数解析入門演習	廣川		2		〃		〃
	05 1330	代数学	中村	2			〃		代数学
	05 1331	代数学演習	石川	2			〃		〃
	05 1341	計算機概論	廣川		2		〃	平成13年度以降入学者	情報
	05 1342	プログラミング基礎演習	廣川		2		〃	〃	〃
	05 1334	幾何学Ⅱ	清原	2			〃		幾何学
	05 1335	幾何学Ⅱ演習	清原	2			〃		〃
	05 1336	位相数学Ⅱ	島川	2			〃		〃
	05 1337	位相数学Ⅱ演習	島川	2			〃		〃
	05 1338	複素関数論	山田		2		選択		解析学
05 1343	マルチメディアと情報処理	島川		2		〃	平成13年度以降入学者	情報	
05 1340	総合演習	各教員		3		必修		—	
4	05 1424	解析学特論Ⅰ	廣川	2			選択必修	平成13～17年度以前入学者は実解析学に読替	解析学
	05 1425	解析学特論Ⅱ(情報)	田村		2		〃	平成13～17年度以前入学者は関数解析・数値解析に読替	情報
	05 1426	代数学特論Ⅰ	山田	2			〃	平成13～17年度以前入学者は多元環論に読替	代数学
	05 1427	代数学特論Ⅱ(情報)	吉野		2		〃	整数論とその符号理論への応用に読替	情報
	05 1428	幾何学特論Ⅰ	松崎	2			〃	平成13～17年度以前入学者は微分幾何学に読替	幾何学
	05 1429	幾何学特論Ⅱ	清原		2		〃	平成13～17年度以前入学者は位相幾何学に読替	〃
	05 1422	情報化社会論	大下	2			選択	平成13年度以降入学者	情報
	05 1423	数学情報課題研究	各教員			10	必修	平成13年度以降入学者	〃
集中講義	情報数学インターンシップ				2	選択	平成13年度以降入学者 2, 3年	情報	

物理学科[専門科目]

学年	講義番号	授業科目	教員	期別・単位			履修区分	備考	免許法上の分類
				前期	後期	通年			
1	05 2105	力学1	大嶋	2			選択必修		物理学
	05 2106	力学2	大嶋		2		〃		〃
	05 2107	電磁気学Ⅰ	野上		2		〃		〃
	05 2119	力学演習1	福見	1			〃	平成13年度以前入学者2単位052109	〃
	05 2120	力学演習2	村岡		1		〃	平成13年度以前入学者2単位052110	〃
	05 2121	電磁気学演習1	川崎		1		〃	平成13年度以前入学者2単位052111	〃
	05 2115	量子論入門	神戸 他		2		選択		〃
	05 2116	物理数学1	横谷		2		〃		〃
05 2118	情報物理学実験Ⅰ	池田・神戸・平井			3	必修		情報	
2	05 2108	電磁気学Ⅱ	野上	2			選択必修		物理学
	05 2122	電磁気学演習2	川崎	1			〃	平成13年度以前入学者2単位052112	〃
	05 2204	熱力学	味野		2		〃		〃
	05 2215	量子力学Ⅰ	原田	2			〃		〃
	05 2216	量子力学Ⅱ	原田		2		〃		〃
	05 2226	量子力学演習1	西山		1		〃	平成13年度以前入学者2単位052217	〃
	05 2213	力学3	岡田(耕)	2			選択		〃
	05 2214	電磁気学Ⅲ	中野		2		〃		〃
	05 2219	物理数学2	未定	2			〃		〃
	05 2228	振動波動	作田	2			〃	平成16年度以降入学者対象	〃
	05 2222	情報物理学実験Ⅱ	小林・小手川・平井			3	必修		情報
	05 2223	情報物理数学	花咲		2		選択		〃
05 2225	情報化と職業倫理	味野	2			〃		〃	
3	05 2303	統計力学Ⅰ	町田	2			選択必修		物理学
	05 2304	統計力学Ⅱ	町田		2		〃		〃
	05 2331	統計力学演習1	水島	1			〃	平成13年度以前入学者2単位052317	〃
	05 2332	統計力学演習2	水島		1		〃	平成13年度以前入学者2単位052318	〃
	05 2227	量子力学演習2	西山	1			〃	平成13年度以前入学者2単位052218	〃
	05 2114	相対論入門					選択	本年度開講せず	〃
	05 2316	量子力学Ⅲ	市岡	2			〃		〃
	05 2334	相対論的量子力学	市岡		2		〃		〃
	05 2319	コンピュータ物理学1	田中(礼)	2			〃		情報
	05 2320	コンピュータ物理学2	花咲		2		〃		〃
	05 2328	情報システム科学	岡田(耕)	2			〃		〃
	05 2329	シミュレーション物理学	松島	2			〃		〃
05 2330	物理学実験	各教員			3	必修		物理学実験	
3,4	05 2321	相対性理論	作田		2		選択		物理学
	05 2322	固体物理学1	花咲	2			〃		〃
	05 2323	固体物理学2	鄭		2		〃		〃
	05 2333	固体物理学3	小林		2		〃	平成17年度以前入学者は052324磁性物理学または052325超伝導物理学で登録、読替	〃
	05 2327	原子核物理学	中野		2		〃		〃
	05 2408	素粒子物理学	田中(礼)	2			〃		〃
	05 2117	情報化社会論	大嶋		2		〃		情報
05 2411	情報物理学特別課題研究	各教員			5	選択必修	平成14年度以降入学者対象	〃	
4	05 2410	情報物理学課題研究	各教員			10	選択必修	13年度入学者は必修	情報

化学科[専門科目]

学年	講義番号	授業科目	教員	期別・単位			履修区分	備考	免許法上の分類
				前期	後期	通年			
1	05 3155	化学英語	全教員		2		必修		化学
	05 3101	有機化学Ⅰ	佐竹	2			〃		〃
	05 3102	有機化学Ⅱ	西原		2		〃		〃
	05 3152	有機化学演習Ⅰ	岡本		1		選択必修		〃
	05 3156	化学数学Ⅰ	田中(秀)・甲賀	2			選択		—
	05 3227	化学数学Ⅱ	田中(秀)・甲賀		2		〃	平成14年度以前入学者化学数学に読替	—
2	05 3200	物理化学Ⅰ	山本(峻)	2			必修		化学
	05 3202	物理化学Ⅱ	田中(秀)		2		選択必修	平成18年度以前入学者は必修	〃
	05 3220	物理化学演習	山本(峻)・甲賀			1	〃	(隔週)	〃
	05 3205	量子化学Ⅰ	川口	2			必修		〃
	05 3225	量子化学Ⅱ	石田・後藤		2		選択必修	平成18年度以前入学者は必修	〃
	05 3221	量子化学演習	川口・石田・唐・後藤			1	〃	(隔週)	〃
	05 3207	有機化学Ⅲ	門田	2			〃	平成18年度以前入学者は必修	〃
	05 3209	有機化学Ⅳ	川本		2		〃	平成18年度以前入学者は必修	〃
	05 3222	有機化学演習Ⅱ	岡本			1	〃	(隔週)	〃
	05 3211	無機化学Ⅰ	黒田	2			必修		〃
	05 3213	無機化学Ⅱ	大久保		2		選択必修	平成18年度以前入学者は必修	〃
	05 3215	分析化学Ⅰ	本水	2			必修		〃
	05 3217	分析化学Ⅱ	本水		2		選択必修	平成18年度以前入学者は必修	〃
	05 3226	分析化学演習	本水・高柳			1	〃	(隔週)	〃
05 3223	基礎化学実験	各教員	3			必修		化学実験	
05 3224	分析・無機化学実験	本水・大島・高柳・小島・黒田・大久保・鈴木(孝)・砂月		3		〃		〃	
3	05 3320	統計熱力学	甲賀	2			選択		化学
	05 3301	反応速度論	末石		2		〃		〃
	05 3322	構造化学Ⅰ	石田・後藤	2			〃		〃
	05 3302	構造化学Ⅱ	唐		2		〃		〃
	05 3305	有機合成化学	西原	2			〃		〃
	05 3323	有機化学Ⅴ	高木	2			〃	平成14年度以前入学者有機反応機構に読替	〃
	05 3307	有機電子論	門田・高村		2		〃		〃
	05 3324	有機化学Ⅵ	花谷		2		〃	平成14年度以前入学者生物有機化学に読替	生物学
	05 3214	無機化学Ⅲ	黒田	2			〃		化学
	05 3309	無機化学Ⅳ	小島・鈴木(孝)		2		〃		〃
	05 3310	錯体化学	小島・砂月	2			〃		〃
	05 3311	固体化学	田口	2			〃		〃
	05 3312	界面化学	久保園		2		〃		〃
	05 3313	溶液化学	大島	2			〃		〃
	05 3314	機器分析化学	大島		2		〃		〃
	05 3398(前) 05 3399(後)	化学輪講Ⅰ	全教員	1	1		必修		〃
05 3317	有機化学実験	高木・川本・佐竹・門田・花谷・西原・岡本・高村	3			〃		化学実験	
05 3318	物理化学実験	山本(峻)・田中(秀)・川口・石田・末石・甲賀・唐・後藤		3		〃		〃	
4	05 3402	化学ゼミナル	各教員			2	選択		化学
	05 3403	課題研究	各教員			10	必修		—

生物学科〔専門科目〕

学年	講義番号	授業科目	教員	期別・単位			履修区分	備考	免許法上の分類
				前期	後期	通年			
1	05 4108	基礎生物学演習Ⅰ	高橋(裕)他	1			必修	平成18年度以降入学者対象	生物学
	05 4109	基礎生物学演習Ⅱ	中越他		1		〃	平成18年度以降入学者対象	〃
	05 4110	現代生物学Ⅰ	多賀他, 各教員	1			選択	平成17年度以前入学者は2単位 054101	〃
	05 4111	現代生物学Ⅱ	多賀他, 各教員		1		〃	平成17年度以前入学者は2単位 054102	〃
	05 4227	分子生物学Ⅰ	富永	2			〃		〃
	05 4107	植物生理学	山本(泰)		2		〃	平成15年度以降入学者対象 平成15, 16年度入学者は生物学概論Ⅱに読替	〃
	05 4112	保全生態学演習	中堀・鏝山	2			〃	平成20年度以降入学者対象	〃
2	05 4223	細胞生物学Ⅰ	鎌田	2			選択		生物学
	05 4103	細胞生物学Ⅱ	高橋(純)・竹内	2			〃		〃
	05 4201	分子遺伝学Ⅰ	沓掛・阿保	2			〃		〃
	05 4301	分子遺伝学Ⅱ	沓掛		2		〃		〃
	05 4224	生化学Ⅰ	沈	2			〃		〃
	05 4225	生化学Ⅱ	高橋(裕)	2			〃		化学
	05 4226	遺伝学Ⅰ	多賀	2			〃		生物学
	05 4241	植物発生生理学	高橋(卓)		2		〃	平成16年度以前入学者は生理学Ⅰに読替	〃
	05 4242	行動生物学	酒井	2			〃	平成16年度以前入学者は行動生物学Ⅰに読替	〃
	05 4243	系統分類学	三枝		2		〃	平成16年度以前入学者は系統進化学に読替	〃
	05 4299	免疫生物学	中安	2			〃		〃
	05 4323	生体制御学Ⅰ	竹内		2		〃		〃
	05 4311	発生生物学Ⅰ	上田		2		〃		〃
05 4244	神経行動学	酒井		2		〃	平成16年度以前入学者は神経生物学Ⅲに読替	〃	
3	05 4237	神経生物学Ⅰ	富岡		2		選択		生物学
	05 4335	動物生理学	坂本	2			〃	平成16年度以前入学者は生理学Ⅱに読替	〃
	05 4228	分子生物学Ⅱ	阿保	2			〃		〃
	05 4312	発生生物学Ⅱ	白井	2			〃		〃
	05 4342	生物英語演習	高橋(卓)他, 各教員	1			必修	平成16年度以前入学者は生物学ゼミナールⅠ必修1単位に読替	〃
	05 4343	生物学ゼミナールA	高橋(卓)他, 各教員		1		選択	平成16年度以前入学者は生物学ゼミナールⅠ必修1単位に読替	〃
	05 4322	遺伝学Ⅱ	中越		2		〃		〃
	05 4324	生体制御学Ⅱ	高橋(純)	2			〃		〃
	05 4337	進化生物学	三枝	2			〃	平成16年度以前入学者は行動生物学Ⅱに読替	〃
	05 4326	細胞生物学Ⅲ	鎌田・多賀		2		〃	平成16年度以前入学者は細胞生物学Ⅳに読替	〃
	05 4334	生化学Ⅲ	山本(泰)	2			〃		〃
	05 4338	発生分子機構学	上田・高橋(卓)	2			〃	平成16年度以前入学者は発生生物学Ⅲに読替	〃
	05 4331	生体制御学Ⅲ	富岡	2			〃		〃
	05 4328	生物物理学Ⅰ	鏝山		2		〃		〃
	05 4236	生物物理学Ⅱ	高橋(裕)・沈		2		〃		〃
05 4329	神経生物学Ⅱ	中安		2		〃		〃	
4	05 4402	生物学ゼミナールB	富永他, 各教員			2	選択	平成14年度以前入学者は生物学ゼミナールに読替, 必修 平成15, 16年度入学者は生物学ゼミナールⅡに読替, 選択	生物学
2	05 4238	臨海実習Ⅰ	坂本・秋山	2			選択必修	集中, 平成15年度以前入学者は選択	生物学実験
	05 4245	生物学実験A	上田他, 各教員	2			必修	平成16年度以前入学者は生物学実験Ⅰ2単位に読替	〃
	05 4246	生物学実験B	上田他, 各教員		2		〃	平成16年度以前入学者は生物学実験Ⅰ2単位に読替	〃
3	05 4239	臨海実習Ⅱ	白井	2			選択必修	集中, 2年終了後の春季休業中 平成15年度以前入学者は選択	生物学実験
	05 4240	臨海実習Ⅲ	坂本・岡田(美)	2			〃	集中, 平成15年度以前入学者は選択	〃
	05 4340	生物学実験C	高橋(卓)他, 各教員	3			選択	平成16年度以前入学者は生物学実験Ⅱ必修3単位に読替	〃
	05 4341	生物学実験D	高橋(卓)他, 各教員		3		〃	平成16年度以前入学者は生物学実験Ⅱ必修3単位に読替	〃
4	05 4401	課題研究	各教員			10	必修		-

## 地球科学科[専門科目]

学年	講義番号	授業科目	教員	期別・単位			履修区分	備考	免許法上の分類
				前期	後期	通年			
1	05 5102	地球科学ゼミナールⅠ	鈴木(茂)・千葉・野坂		2		必修		地学
	05 5103	現代地球科学Ⅰ	千葉・山中・隈元	2			〃	平成15年度以前入学者現代地球科学に代替	〃
	05 5104	現代地球科学Ⅱ	山中・塚本		2		〃	平成15年度以前入学者現代地球科学に代替	〃
	05 5211	地球科学巡検Ⅰ	岡野・未定			1	〃	延5日間	地学実験
2	05 5208	鉱物結晶学実験	逸見・山川		1		選択必修		地学実験
	05 5209	地質図学実験	鈴木(茂)	1			〃		〃
	05 5213	地球科学ゼミナールⅡ	山中・柴田・浦川	2			必修		地学
	05 5214	地球科学ゼミナールⅢ	小田・加瀬・山川		2		〃		〃
	05 5217	顕微鏡岩石学実験Ⅰ	柴田・中村(大)・野坂	1			選択必修		地学実験
	05 5218	顕微鏡岩石学実験Ⅱ	柴田・加瀬・野坂		1		〃		〃
2	05 5200	鉱物結晶学	逸見・山川	2			選択必修		地学
	05 5201	基礎資源論	加瀬		2		〃		〃
	05 5202	基礎岩石学	野坂		2		〃		〃
	05 5203	地球発達史	鈴木(茂)		2		〃		生物学
	05 5204	固体地球物理学	小田		2		〃		地学
	05 5205	宇宙と地球の化学	千葉	2			〃		〃
	05 5206	地球化学熱力学	千葉		2		〃		化学
	05 5207	大気物質循環論	塚本	2			〃		地学
	05 5216	地球惑星内部物理学	浦川	2			〃		物理学
	05 5302	地球物質反応論	中村(大)・岡野・山川		2		〃		地学
05 5324	生物地球化学	山中	2			〃		〃	
3	05 5301	変成論	中村(大)・野坂		2		選択必修		地学
	05 5305	地球内部物性論	浦川		2		〃		〃
	05 5306	地震波動論	小田	2			〃		〃
	05 5307	大気物理学	塚本	2			〃		〃
	05 5308	火成論	柴田	2			〃		〃
	05 5309	地球変動論	鈴木(茂)		2		〃		〃
	05 5318	地形学	隈元	2			〃		〃
	05 5319	地球惑星物理化学	浦川	2			〃		〃
	05 5320	資源物質循環論	加瀬	2			〃		〃
	05 5326	無機地球化学	千葉		2		〃	平成15年度以前入学者変成論に代替	〃
	05 5328	海底地質学	柴田		2		〃		〃
	05 5329	沿岸の地球科学	山中		2		〃		〃
	05 5330	微量元素・同位体地球化学	岡野	2			〃		〃
05 5322	地球科学巡検Ⅱ	柴田・未定			1	選択	延5日間	地学実験	
3	05 5312	地球物理学演習	小田	1			選択		地学
	05 5313	地球物理学実験	塚本・浦川	1			選択必修		物理学実験
	05 5316	地球化学実験	千葉・山中・岡野	1			〃		化学実験
	05 5317	地質調査法実習	野坂・千葉			4	〃		地学実験
	05 5321	地球科学ゼミナールⅣ	塚本・隈元・岡野	2			必修		地学
	05 5325	測量地理情報学実習	隈元		1		選択必修		地学実験
4	05 5400	地球科学輪講	各教員			4	必修		地学
	05 5403	課題研究	各教員			6	〃		—
集中講義	05 9538	地球科学特講Ⅰ	前原			2	選択	3, 4年次	—
	05 9539	地球科学特講Ⅱ					〃	本年度開講せず	—
	05 9540	地球科学特講Ⅲ					〃	〃	—
	05 9541	地球科学特講Ⅳ					〃	〃	—
	05 9542	地球科学特講Ⅴ					〃	〃	—
	05 9543	地球科学特講Ⅵ					〃	〃	—

[共 通]

授 業 科 目	教 員	期別・単位			履修 区分	備 考	対 象
		前期	後期	通年			
アイトープ基礎実験	作田・田口・高橋(裕)・ 阿保・高橋(卓)・中越・ 作部・蜂谷・鑛山	1			選択	自然生命科学研究支援センター 光・放射線情報解析部門 津島施設を利用する者は必ず 履修すること。	4年次生
就業体験実習 (インターンシップ)		2			選択	2単位まで履修可 数学科は、『情報数学インターンシップ』 となる。	2・3年次生
博物館実習					選択	学芸員資格取得者用 本年度開講せず。	

## 16. インターンシップの履修について

### 理学部就業体験実習（インターンシップ）の概要

#### 趣旨・目的

インターンシップ制度とは、大学で修得した学問と現場での実践との融合を図り、基礎科学とその応用についての理解を深めることを目的として、理学部の教育課程に基づき理学部の学生が取りまとめ団体の会員企業等において就業体験を行うものです。

#### 受入企業の決定方法

インターンシップ制度登録企業等（受入先企業等）については、取りまとめ団体から理学部へ予め通知されます。

インターンシップ希望者の受入企業等については、取りまとめ団体が受入窓口となり会員企業等と調整のうえ受入先企業等を決定し、理学部へ通知されます。

#### インターンシップ期間等

インターンシップ期間は、原則として2週間

この期間中の学生に対する賃金等は、基本的には支払われません。

#### 成績評価

学生のインターンシップ実施中の評価は受入先企業等が行い、インターンシップ終了後理学部へ報告するものとします。

理学部は、企業等からの報告に基づき単位の認定に伴う成績評価を行います。

#### 事故対策

インターンシップ希望の学生は、賠償責任保険、傷害保険等へ加入して下さい。

取りまとめ団体においても、受入先企業等内での実習中の事故及び傷害に対処するため、受入企業等間の統一的な対応策を講じます。

#### 守秘義務

インターンシップ実施中に学生が知り得た企業等内の情報について、受入先企業等が当該学生と個別に対応します。

#### 授業科目 就業体験実習（インターンシップ）

（数学科は、受入先企業等によっては『情報数学インターンシップ』となります。）

**期 間** 夏期休業中2週間

**履修時期** 学部2・3年次

#### 履修手続

- 1 事務室教務学生担当の窓口にあるインターンシップ登録企業等のリストを参照する。
- 2 希望する企業等を選び、事務室教務学生担当に申し込む。
- 3 受入人数等の制限のため、希望者のなかから選抜を行うこともある。
- 4 理学部から取りまとめ団体へ受入依頼書を送付する。
- 5 企業等から許可書が理学部へ返送され、許可を得た者に限り実習が可能となる。
- 6 実習に際して、事前に理学部でガイダンスを行う。
- 7 実習先の企業等あるいは実習日程等を研究しておく。
- 8 実習に際しては、実習記録を付け、企業等の担当者に検印をもらい、実習後、事務室教務学生担当に提出する。